

慶應義塾大学

大学院学則 別表7（第3条関係）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

研究科	専攻	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
文学		文学研究科は、本塾建学の精神に則り、哲学・倫理学、美学美術史学、史学、国文学、中国文学、英米文学、独文学、仏文学、図書館・情報学に関する高度で専門的な教育と研究を通じて、深い学識と卓越した専門的能力を培い、高い見識を持って第一線で活躍する研究者および高度の専門性を備えた職業人を育成することを目的とする。
	哲学・倫理学	哲学・倫理学専攻は、哲学、倫理学の分野の専門研究を通じて、高度な専門知識を身につけ、幅広い知見をもって研究・教育にあたる人材を育成することを目的とする。
	美学美術史学	美学美術史学専攻は、美学美術史学、アート・マネジメント、それぞれの分野において、美と芸術の原理、芸術の歴史、芸術の社会的機能などに関する専門的（理論的ならびに実践的）研究を通じて、高度な芸術研究者ならびに芸術運営の専門家として有用な人材を育成することを目的とする。 特に、理論研究・歴史研究を行う美学美術史学分野では、修士・博士課程を通じて、美学・芸術学、日本・東洋美術史、西洋美術史、音楽史、舞台芸術史などの教育・研究が行われ、芸術一般ならびに各ジャンルにおいて高度な知識を有する専門研究者として内外で活躍する人材の養成をめざしている。 また、アート・マネジメント分野では、大学卒業後3年以上で実務経験を有する社会人を対象とした修士課程を通じて、アート・マネジメント、アート・マーケティング、知的資産の管理、芸術・文化資源の活用などの教育・研究が行われ、芸術運営において必要な知識ならびにスキルを修得したプロフェッショナルの養成をめざしている。
	史学	史学専攻は、日本史学、東洋史学、西洋史学、民族学、考古学の各分野の専門的研究を通じて、歴史学に関する高度な知識を身につけ、過去の社会や出来事から現在の人類のあり方を考え、未来の可能性を提案することができる人材を育成することを目的とする。
	国文学	国文学専攻は、国文学分野と日本語教育学分野とから成る。国文学分野では、国文学および日本語学（国語学）の専門的研究を通じて日本文化を多角的に把握し、これに関する高度な専門知識を有する教育者・研究者、ならびに専門知識を広く社会活動に活かすことのできる人材を育成することを目的とする。日本語教育学分野では、日本語学ならびに日本語教育学の分野の専門的研究を通じ、非母語話者の視点を踏まえた分析方法を身につけ、日本語に関する幅広い専門的知識を修得して、高等教育機関における日本語教育の範囲にとどまらず、日本語が必要な研究分野あるいは職種で活躍できるような人材の育成を目的とする。
	中国文学	中国文学専攻は、中国語学・中国文学分野の専門的・学際的研究を通じて、深い専門知識を身につけ、併せて中国文化の多様性を広範な視野をもって探求する柔軟かつ応用性ある研究能力を培い、文献による理論と研究者間の相互切磋による実践を、個性輝く研究成果として斯界の第一線に発信し得る人材を育成し、かかる人材の活躍を期して専門領域に於ける日中学術交流の大いなる発展に貢献することを目的とする。
	英米文学	英米文学専攻は、英語学、英文学、米文学の分野の専門的、学際的研究を通じて、英語、英米文学の専門的な知識と研究方法を身につけ、英語圏文化に関わる理解と知的創造に資する貢献を国内外においてなし得る人材を育成することを目的とする。
	独文学	独文学専攻は、ドイツ語圏の言語、文学、文化の分野の専門的および学際的研究を通じて、人文学の専門性を培い、社会で幅広く活躍しうる「世界市民」（ゲート）を育成することを目的とする。
	仏文学	仏文学専攻は、広義のフランス語、フランス文学分野の専門的および学際的研究を通じて、人文学的専門知識を身につけ、国際文化の創造と批判的省察に寄与する人材を育成することを目的とする。
	図書館・情報学	図書館・情報学専攻は、図書館・情報学分野の専門的研究を通じて、図書館・情報学の専門的知識を教授し、図書館・情報学分野の卓越した研究者ならびに高度な専門性を備えた職業人を育成し、もって図書館・情報学分野の研究と実践の発展に寄与することを目的とする。
経済学	経済学	経済学研究科の教育目的は、慶應義塾の建学の精神を踏まえつつ、経済現象を適切に分析し深く考察できる高度な研究能力を持ち、学界のみならず実社会で活躍できる人材を養成することである。

法学		法学研究科は、本塾建学の精神に則り、法学と政治学の専門知識のうえに、現代社会の抱える諸課題を、学術的観点から論理的かつ実践的に分析できる人材の育成を図り、もって学理の創造的発展に寄与することを目的とする。
	民事法学	民事法学専攻および公法学専攻は、法学のすぐれた研究者の育成にとどまらず、社会において生起する諸問題を法的な視点から分析し、法的論理に基づき主体的に判断できる人材の育成を目的とする。
	公法学	
	政治学	政治学専攻は、政治学のすぐれた研究者の育成にとどまらず、社会科学全般についての基礎的素養を踏まえた、高度に理論的かつ実践的な能力を有する人材の育成を目的とする。
社会学		社会学研究科は、本塾建学の精神に則り、社会学、心理学、教育学分野に関する深い専門性と広い学際性を備えた学識を授け、高い見識を持って第一線で活躍する研究者および高度の専門性を備えた職業人を育成することを目的とする。修士課程は、社会学、心理学、教育学分野において研究活動を行ううえで必要な基礎的な研究能力および高度の専門性が求められる職業を担うために必要な能力を養うことを目的とする。後期博士課程は、社会学、心理学、教育学分野について、研究者として自立して研究活動を行い、その他の高度に専門的な業務に従事するために必要な卓越した研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。
	社会学	社会学研究科社会学専攻は、人間行動・社会・文化に関する深い専門性と広い学際性を備えた学識を授け、高い見識を持って第一線で活躍する研究者および高度の専門性を備えた職業人を育成することを目的とする。
	心理学	社会学研究科心理学専攻は、厳密な実証科学としての心理学を知識と技法の両側面から習得し、高い見識を持った自立した研究者を育成すること、および高度に専門的な業務に従事する職業人を育成することを目的とする。
	教育学	社会学研究科教育学専攻は、教育という関心と視座から広く人間形成に関わる営みを理論的、歴史のおよび実証的・実験的な方法によって探究する研究者・高度専門職業人を育成することを目的とする。
商学	商学	商学研究科は、福澤諭吉の実学の精神を「商学研究」において継承し、理論と実証を通じて現代のグローバルな産業社会を把握し、進歩と変革の方向を洞察することを教育と研究の基本とする。教育においては、この基本を踏まえ、経済社会の複雑な諸問題を適切に解決できる高度な知識と豊かな教養を備えた、社会のリーダーとして活躍しうる自立した研究者やプロフェッショナルの養成を目的とする。
医学	医学研究系	医学研究科博士課程では、基礎医学と臨床医学の関連分野において、気品と智徳を備え独立自尊の精神の下に医学研究・医療を実践できる、国際感覚と自立心にあふれる医学研究者や医療従事者を育成するための教育と、医学研究の実践により、幅広い視野と専門性を兼ね備え、独創性の高い基礎研究や疾患の病態メカニズム解明や診断・治療・予防法の開発などの先端医療につながる基礎研究・臨床研究を推進できる、将来の医学研究・医療を先導するリーダーとなれる人材を養成することを目的とする。
	医療科学系	
	医科学	医学研究科修士課程では、自然科学領域や人文・社会科学領域で学んできた人々を対象に、医学研究・教育と医療実践の場である本学大学院医学研究科と大学病院において、医学研究に対して広い視野と深い論理的思考を獲得させること、研究成果の社会的な重要性を自覚させて研究への強い動機と自律的に活動できる強い意欲をもたせることを教育方針として、医学研究に取り組むことにより、医療に深い造詣を有する高度の職業人の養成とともに、将来、多様な分野で活躍できる人材を養成することを目的とする。
理工学		<p>(修士課程)</p> <p>ア 多様性を重視しつつ、科学技術の専門性を活かして未知の領域に果敢に挑戦し、社会を先導できる人材を養成することを目的とする。</p> <p>イ 学生一人ひとりの固有の才能を引き出し、人間社会へ貢献する強い意志を持って主体的に問題を見出し、課題を要素化して学術と先端技術を駆使して取り組む能力を育てる教育を実施すると同時に、基礎から応用までのあらゆる科学技術分野において世界最先端で独創的な研究成果を生み出すことを教育研究上の目的とする。より具体的には、理工学の広範な領域に関する専門科目に加えて、外国語科目と総合教育科目および国際・多様・包摂的な視野を育成する科目を充実させ、理学および工学のいずれにも重要な科目を履修させると同時に、理学においては自然科学における知識と理論またその現象を深く理解しその諸法則を応用展開できる能力を、また工学においては「ものづくり」「コトづくり」を意識しつつも創造的・新規的な研究開発を自立的に推進できる能力を、それぞれ習得させることを目的とする。</p> <p>(後期博士課程)</p> <p>ア 修士課程において培った能力に加えて、理工学の広範な専門分野における明確な研究成果を示すと共にその基礎となる豊かな学識を有し、かつ将来的に研究者として自立して高度な研究活動を行うと同時に自身の知見を活かす場を自ら見出すことができる人材を養成することを目的とする。</p> <p>イ 修士課程において培った能力に加えて、理工学の広範な専門分野において高度な研究を自立的に推進できる能力と、多様な価値観を認め未知の領域を探求する姿勢と、自身の知見を活かす場を自ら見出す能力を、それぞれ習得させることを目的とする。</p>

	先端数物科学	<p>(修士課程)</p> <p>ア 数理学と物理学に立脚した最先端の教育研究を通して、理工学のみならず社会全体を見渡すことのできる広い視野のもとで、今ある最先端ではなく次の最先端を拓くための基礎を学び、世界中の誰も真似することのできないほどの突き詰めた科学の真理に基づく専門性を身に着けた人材を養成することを目的とする。</p> <p>イ 各自が有する数理学や物理学に関する高い基礎学力を基に、今ある最先端ではなく次の最先端を拓くことを追求する研究活動を通じて、緻密な論理に基づいて物事の本質に迫る能力に加えて、社会の多様性に目を向けながら研究の方法論や成果の発信法を学ぶことにより、自らの創造力を社会に対して最大限に発揮できる能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 情報通信業や金融業・保険業および製造業の研究開発職や生産品質管理職および技術営業職等が主に予想されるが、専門性を活かしたコンサルティング業務や官民の研究機関の研究員、さらには官公庁の総合職等、幅広い進路を選択することと思われる。</p> <p>(後期博士課程)</p> <p>ア 修士課程において培った能力に加えて、数理学と物理学に立脚した最先端の研究活動に真摯に取り組み、専門分野における明確な成果を挙げ、世界中の誰も真似することのできないほどの突き詰めた科学の真理に基づく高度な専門性を身に着けた人材を養成することを目的とする。</p> <p>イ 各自が有する数理学や物理学に関する高い基礎学力および研究能力を基に、今ある最先端ではなく次の最先端を拓くことを追求する真摯な研究活動を通じて、緻密な論理に基づいて物事の本質に迫る高度な能力に加えて、社会の多様性に目を向けながら研究の方法論や成果の発信法を学ぶことにより、自らの創造力を社会に対して最大限に発揮できる場を自ら見出す能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 国公立の大学教員および官民の研究機関の上席研究員相当職に加え、情報通信業や金融業・保険業および製造業における研究開発を牽引する役職や専門性を活かしたコンサルティング業務等、自身の知見を活かす場を自ら見出して幅広い進路を選択することと思われる。</p>
理工学	化学・生命情報科学	<p>(修士課程)</p> <p>ア 化学、生命科学、それらと関連した情報科学分野における最先端の教育研究を通して、基盤となる科学的な専門知識を深化させると共に既存分野が融合した新しい学問領域を創出する能力を身につけ、さらに優れたコミュニケーション能力によって社会および世界を先導して研究成果を普及させることができる人材の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する基礎学力を、化学、生命科学、それらと関連した情報科学分野における最先端の研究活動の中で実効的に活かし、新たな理論の構築から社会の発展に貢献できる科学技術への展開に貢献すると共に、自身の学びの成果を科学的根拠に基づいた言葉で専門分野内外を問わず正しく伝えることができる説明能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 化学系や製薬系等の製造業の研究開発職や生産品質管理職および技術営業職等が主に予想されるが、専門性を活かしたコンサルティング業務や官民の研究機関の研究員、さらには官公庁の総合職等、幅広い進路を選択することと思われる。</p> <p>(後期博士課程)</p> <p>ア 修士課程において培った能力に加えて、化学、生命科学、それらと関連した情報科学分野における最先端の真摯な研究活動を通して、基盤となる科学的な専門知識を深化させると共に既存分野が融合した新しい学問領域を創出する高度な能力を身につけ、さらに優れたコミュニケーション能力によって社会および世界を先導して研究成果を普及させることができる人材の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する基礎学力および研究能力を、化学、生命科学、それらと関連した情報科学分野における最先端の研究活動の中で実効的に活かし、専門分野における明確な成果を示すことで、新たな理論の構築から社会の発展に貢献できる科学技術への展開に貢献すると共に、自身の学びの成果を科学的根拠に基づいた言葉で専門分野内外を問わず正しく伝えることで自身の知見を活かす場を自ら見出す能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 国公立の大学教員および官民の研究機関の上席研究員相当職に加え、化学系や製薬系等の製造業における研究開発を牽引する役職や専門性を活かしたコンサルティング業務等、自身の知見を活かす場を自ら見出して幅広い進路を選択することと思われる。</p>

理工学	総合デザイン工学	<p>(修士課程)</p> <p>ア 現実の現象を解析しモデル化できる科学的能力を有することを前提として、基盤工学、および基盤工学とリベラルアーツを融合した学際工学に立脚した最先端の研究を通して、広く社会の発展に貢献できる人工物および工学システムを設計あるいは統合して、具体的な課題解決に結びつけることのできる人材の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する学術分野における基礎学力を基盤として、先端的・萌芽的・創造的な活動を重視した教育研究を実践する中で要素技術をより広い工学的営為全般の中で改めて位置付けし直し、具体的な課題解決に結びつけることができる能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 製造業や情報通信業および建設業等の研究開発職や生産品質管理職および技術営業職等が主に予想されるが、専門性を活かしたコンサルティング業務や官公庁の総合職、さらには「ものづくり」や「コトづくり」に対する強みを活かしたベンチャー企業への参加から自ら起業する場合まで、幅広い進路を選択することと思われる。</p> <p>(後期博士課程)</p> <p>ア 修士課程において培った能力に加えて、現実の現象を解析しモデル化できる科学的能力を有することを前提として、基盤工学、および基盤工学とリベラルアーツを融合した学際工学に立脚した最先端の研究に真摯に従事することを通して、自ら具体的な課題を見出すと共に、広く社会の発展に確かな貢献ができる人工物および工学システムを高度に設計あるいは統合して、具体的な課題解決に結びつけることのできる人材の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する学術分野における基礎学力および研究能力を基盤として、先端的・萌芽的・創造的な活動を重視した教育研究を実践する中で要素技術をより広い工学的営為全般の中で改めて位置付けし直し、専門分野における明確な成果を示し、具体的な課題解決に結びつけることができる能力に加えて、自身の知見を活かす場を自ら見出す能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 国公立の大学教員および官民の研究機関の上席研究員相当職に加え、製造業や情報通信業および建設業等の研究開発を牽引する役職や専門性を活かしたコンサルティング業務等が主に予想されるが、「ものづくり」や「コトづくり」に対する強みを活かしたベンチャー企業への参加から自ら起業する場合を含めて、自身の知見を活かす場を自ら見出して幅広い進路を選択することと思われる。</p>
	人間・社会システム情報科学	<p>(修士課程)</p> <p>ア 人間や社会を取り巻く広範な科学技術について、自然・人間・文化・社会に関する諸活動と有機的に結び付け本質的理解を究め、未踏の自然理解や人間理解、文化理解、社会理解、技術理解に果敢に挑戦し、人間社会の未来を創造し発展させる能力を有した真の国際人の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する学術分野における基礎学力を基盤として、他分野と交わりながら周辺領域に及ぶ学識と広い視野を体系的に身につけ、国際人としての素養を有し、高い倫理観と責任感をもって、未踏の課題を論理的判断に基づき解決する能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 情報通信業や金融業・保険業および製造業の研究開発職や生産品質管理職および技術営業職等が主に予想されるが、国内外また組織の大小を問わず幅広く社会のあらゆる分野で社会を先導し変革する役割を担う進路を選択する場合が多くなることと思われる。</p> <p>(後期博士課程)</p> <p>ア 修士課程において培った能力に加えて、人間や社会を取り巻く広範な科学技術について、自然・人間・文化・社会に関する諸活動と有機的に結び付け本質的理解を究め、未踏の自然理解や人間理解、文化理解、社会理解、技術理解に果敢に挑戦し、人間社会の未来を創造し発展させる多様かつ高度な能力を有した真の国際人の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する学術分野における基礎学力および研究能力を基盤として、他分野と交わりながら周辺領域に及ぶ学識と広い視野を体系的に身につけ、専門分野における明確な成果を示し、かつ国際人としての素養を有し、高い倫理観と責任感をもって、未踏の課題を論理的判断に基づき解決する能力に加えて、自身の知見を活かす場を自ら見出す能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 国公立の大学教員および官民の研究機関の上席研究員相当職に加え、情報通信業や金融業・保険業および製造業の研究開発を牽引する役職や専門性を活かしたコンサルティング業務等が主に予想されるが、国内外また組織の大小を問わず幅広く社会のあらゆる分野で社会を先導し変革する役割を主体的に担う進路を選択する場合が多くなることと思われる。</p>

経営管理	経営管理	<p>経営管理研究科は個としての自立心、他の尊厳を重んずる精神、明確な使命感、卓越した見識、果敢な実行力を合わせ持つ、優れた革新的リーダーを育成することにより、経済社会の発展と進歩に寄与することを目的とする。 (修士課程MBAプログラム)</p> <p>不確実な環境で将来を見通し、ビジョンを持って目標を定め、戦略的な意思決定を行うための経営全般に関する知識と、社会と組織を先導する使命感やマインドセットを持ったリーダーを育成することを目的とする。 (修士課程EMBAプログラム)</p> <p>職務経験15年以上の中核人材が、週末を中心としたカリキュラムで学ぶプログラムであり、異業種・異職種の人たちが切磋琢磨し合いながら、経営の知識だけでなく、経営者としてのマインドセット、国際感覚を備え、世界的な視点、長期的視野に立って社会を先導するリーダーに育つことを目的とする。 (後期博士課程)</p> <p>経営に関する専門的な研究・教育機関において研究と教育活動に携わる研究者を養成すること、および研究・教育機関以外の専門機関において高度の専門家として活躍する人材を育成することを目的とする。</p>
政策・メディア	政策・メディア	<p>政策・メディア研究科は、社会のニーズに応えるための分野横断的な視点と専門知識を持ち、実践的な問題発見・解決能力を有するプロフェッショナルの養成を目指している。また、その養成においては、技術イノベーションや社会イノベーションの創出とその融合、社会への問いかけや社会実装の実践、異分野の研究者や学生とのコラボレーションを重視し、政策、ガバナンス、社会イノベーション、環境、ICT、メディア、身体スキル、生命科学などの分野を複合的に学び、次世代情報社会のリーダーとしてグローバルに活躍できる人材を育成することを目的とする。</p>
法務	法曹養成（法科大学院） グローバル法務	<p>法務研究科は、本塾建学の精神に則り、学理および応用を教授研究し、法曹養成専攻においては、法律に関する高度の専門性が求められる職業を担うため、グローバル法務専攻においては、経済社会のグローバル化に伴って求められる法律関係の職業を担うため、それぞれに必要なとされる深い学識および卓越した能力を培うことを目的とする。</p>
健康マネジメント	看護学	<p>本塾建学の精神に則り、学理および応用を研究教授し、人々の健康に資する保健・医療・福祉の在り方を構想し、科学的方法に基づく高度な実践・マネジメントを行うことに求められる深い学識および卓越した能力を培うことを目的とする。</p> <p>学際的で豊かな知識と高い倫理性に裏打ちされ、既存の枠組みにとどまらない構想力、複雑かつ先進的な健康課題を包括的に理解するための臨床判断能力、Evidence-based practiceおよび理論や概念基盤に基づいた最善のアウトカムをもたらすケア実践能力を修得し、看護ケアの新しいあり方を開発・構築、実践できる人材を養成することを目的とする。</p>
	公衆衛生・スポーツ健康科学	<p>保健・医療・福祉やスポーツに関連した専門的知識の修得にとどまらず、個人や社会が抱える健康課題を見出す洞察力、課題の背後にある構造・因果関係を推定し仮説として構築するための論理的思考力、万人が納得できる方法で仮説を検証するための分析力、導出した結論を共有・実践するためのコミュニケーション力といったマネジメント力を修得させ、多様性・多文化への配慮と高い職業倫理観にもとづいて社会を先導するリーダーシップを醸成することを目的とする。</p>
システムデザイン・マネジメント	システムデザイン・マネジメント	<p>あらゆる問題が大規模・複雑化、解決困難化する現代社会において、新たな技術システム・社会システムをデザインするためには、問題全体を俯瞰的に捉えるとともに、対象とするシステムを詳細まで緻密にデザインする、「木を見て森も見る」力が不可欠である。このため、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科では、既に何らかの専門性を有する学生に対し、システムズエンジニアリング、プロジェクトマネジメントおよびシステム×デザイン思考をベースとする分野横断的学問「SDM学」の教育を行うことによって、大規模・複雑システムのデザインとマネジメントを行う能力を養うことを目的とする。これらのSDM学の基本をコア科目で学び、関心分野の専門性を専門科目で深め、さらに実践的な能力をプロジェクト科目および特別研究科目で高める。</p>
メディアデザイン	メディアデザイン	<p>The mission of the Graduate School of Media Design (KMD) is to develop creative leaders and innovators who have the ability to globally collaborate beyond disciplines and cultures to innovate create social value. The official language of KMD is both English and Japanese. The curriculum is structured to have practical projects with external partners at its core, to acquire practical skills and theories including research and development of advanced digital technology, project management under multi-location and cultural environment, product and service design, business model and policy recommendations.</p> <p>メディアデザイン研究科（KMD）は、専門分野や文化の枠を超えてグローバルに協働してイノベーションを起こし社会に向けて価値を創出する能力を持つ創造力豊かなリーダーやイノベータの育成を目的とする。そのために、KMDは英語と日本語を公用語とし、カリキュラムは外部と連携する実践的なプロジェクトを中心に構成している。プロジェクトを通して、デジタルメディアを中核とした先端技術の研究開発、複数拠点および多様な文化を連携するプロジェクトマネジメント、コンテンツやサービスデザイン、ビジネスモデルや政策提言など幅広い実務スキルと理論を獲得することを目指す。</p>
薬学		<p>本塾建学の精神に則り、薬学における学理およびその応用を教授研究し、医療・創薬に関わる分野で求められる卓越した学識と創造性豊かな研究能力を培うことを目的とする。</p>
	薬科学	<p>薬科学専攻では、創薬、臨床開発、環境・生命科学などの幅広い薬科学分野の発展に貢献し、将来同分野のリーダーとして国際的に活躍する、未来を先導する研究者・教育者の育成を目的とする。</p>
	薬学	<p>薬学専攻では、科学の基盤と医療人としての高い倫理観を持ち、高度な薬物療法および薬学研究の実施に貢献し、各界で活躍できる指導的な薬剤師・研究者・教育者の育成を目的とする。</p>